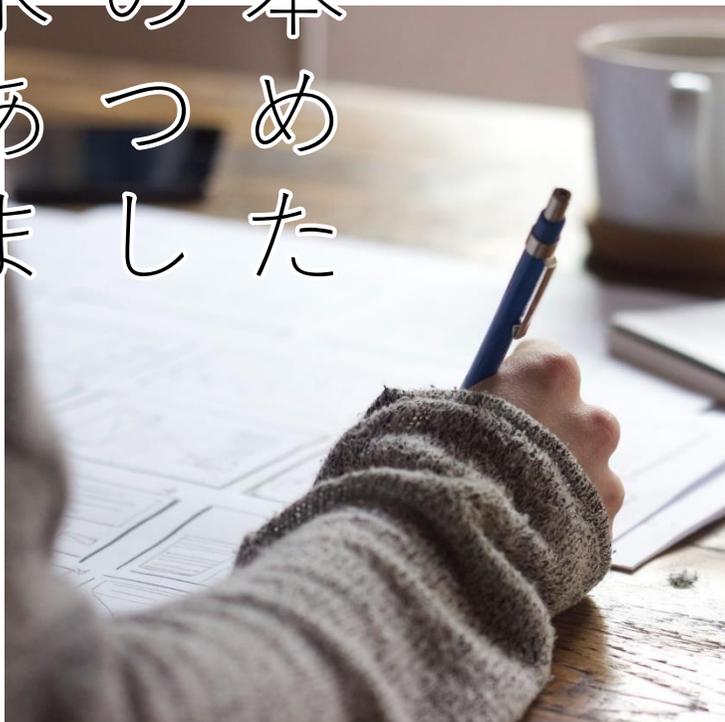


水の本  
あつめ  
ました



めざそう！  
水道＆下水道博士！

水について

学ぶ

水について

調べる



災害や事故で断水になったり、トイレが流せなくなったり、そんなときには「水」が話題になるものの、蛇口から水が出ることやトイレが使えることに感謝して毎日を過ごす人はそう多くはないはず。

「水」にもっと関心を持ってもらいたい。字が読める前の子どもでも、「水」の絵本に触れ、ページをめくるだけで、きっと「水」への意識が芽生え、感度が高まるはず。そんな思いを抱いて図書館から借り集めた絵本や図鑑には、専門的な内容がわかりやすく説明されていて、上下水道の初心者が知識を深めることができるものばかり。

地理、歴史、災害や環境問題にも目を向けて取り揃えた約100冊の書籍の中には、すでに絶版となったもの、非売本、貴重な寄贈本、珍しい装丁本や作家のサイン本もあります。

「水」のファンが増えますように。



# のぞいてみよう しぜんかがく みず

てづかあけみ 絵・文  
パイインターナショナル

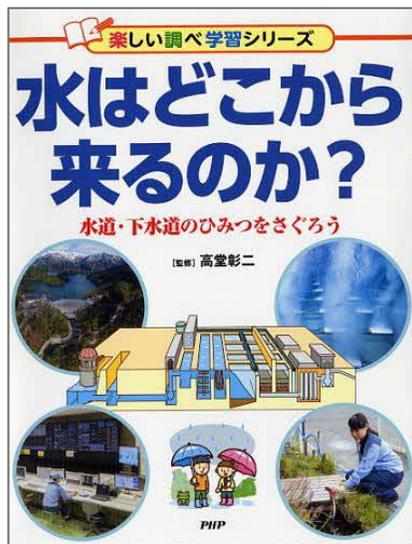
私たち人間だけでなく、動物や植物が生きていくために欠かせない水。私たちの身近にある水は、さまざまな場所で時には姿を変えながら、繋がっています。カラフルでポップなイラストと一緒に、水の性質や巡りを学んでみませんか。大人にもおすすめの絵本。



## 水はどこから来るのか？

高堂 彰二 監修  
PHP研究所

生活に欠かせない、水道や下水道。水はどこからきている？どこに流れていく？そのしくみが写真やイラストでわかりやすく解説されています。「水」にかかわる仕事、上下水道の歴史や、水道メーターの読み方、ご当地マンホールも紹介されています。小学生の「調べ学習」だけでなく、大人も水の理解を深めることができる一冊です。



# なぜ?から調べる水のじゅんかん 1 水はどこから来るの?

太田 猛彦 監修

学研プラス



世界で最初の水道は、紀元前、ローマのアッピア水道。2千年以上経った今も、安全な飲み水を利用できないひとは20億人います。日本でも江戸時代に整備された神田上水等の管理が行き届かず、明治時代にコレラが流行しました。安心、安全な水と世界の水道について理解を深めることができる本です。

# 水のひみつ大研究 1 水道のしくみを探れ

西嶋 涉 監修

ポプラ社



水道メーターは、水が流れると、パイロット（羽根車）が回転し、連動して指針（指示値）が動きます。見たことがありますか？水道水ができるまでのしくみ（水源、ダム、浄水場の役割など）が学べます。江戸時代に整備された水道網の解説や、昭和40年代と令和のトイレの1回に流れる洗浄水量の実績値なども掲載されています。

# 14歳からの水と環境問題

インフォビジュアル研究所 著

太田出版

水不足、水害、水の汚染や、水の利用権を奪う争いなど「水をめぐる問題」はたくさんあります。食料を輸入している国が自国で生産すると仮定した場合の「バーチャルウォーター」、トイレの普及が遅い途上国の実態、地球温暖化がもたらす影響など多方面から水を知り、自分に何ができるか考えることができる本。

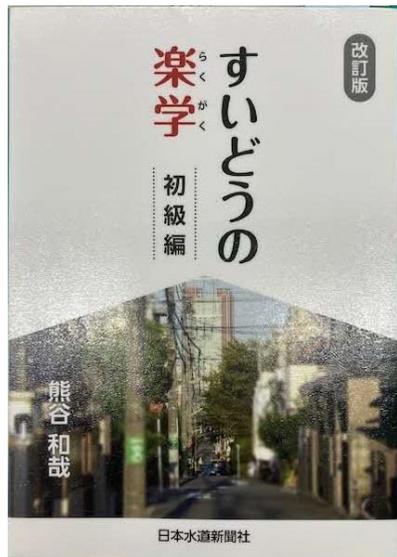


# すいどうの楽学 初級編

熊谷和哉 著

日本水道新聞社

「水道」について、何をどう学ばいいのか…そんなときにおすすめの本。管の名称（給水管、配水管、送水管、導水管）はどんな違い？水道料金が日本中バラバラなのはなぜ？日本最大の浄水場はどこ？どんな薬品を使って浄水しているの？水道事業は誰が運営しているの？など。たくさんのお話でいっぱいです。中級編もあります。



# 今日からモノ知りシリーズ トコトンやさしい水道の本 第2版

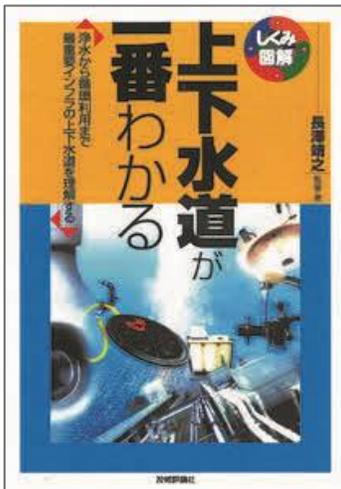
高堂彰二 著  
日刊工業新聞社



水道について幅広く、ちょっと専門的に知りたいときには是非この本を。歴史や施設や技術の詳細、用語、法律に至るまでなんでも来い。現地を訪問せずに検針データを得ることができる「スマートメーター」の紹介や、水全国的に課題となっている「施設の老朽化」にも迫ります。

## 上下水道が一番わかる

長澤靖之 監修・著  
技術評論社



化学・生物・土木など多方面から、上下水道を解説した本です。水道管、下水管は地下に敷設するので、材質や管径には土圧・荷重、腐食等を考慮したものが選ばれます。管が法定耐用年数を超えると、漏水や道路陥没のリスクが高まります。更新に必要な資金は多額であり、上下水道が抱える課題についても紹介されています。

# 今日からモノ知りシリーズ トコトンやさしい 水道管の本

高堂彰二 著  
日刊工業新聞社

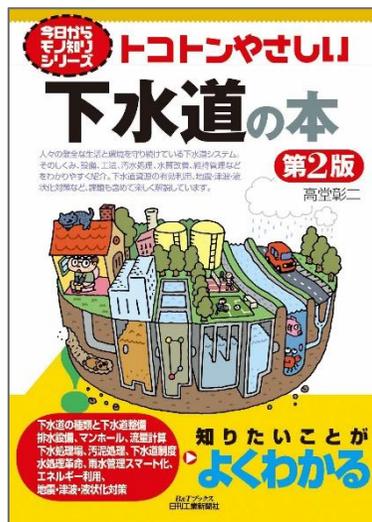
豊中市内の水道管すべてをつなげると800km。下水道管は1000km超。大阪から直線距離で青森や北海道まで行ける長さ。そんな「管」のことなら何でも載っています。市内にもある水管橋（川を越えて水を運ぶ橋）、家庭でできる水漏れの調査方法、冬場におきる水道管の凍結予防の方法など、身近な話題も。



# 今日からモノ知りシリーズ トコトンやさしい 下水道の本 第2版

高堂彰二 著  
日刊工業新聞社

下水管に下水を流す方法には、雨水と生活から出る汚水を同じ管で流す合流式と、別の管で流す分流式があります。下水道のしくみや暮らしを守る技術などあらゆることがわかる本です。豊中市にも、雨水を貯留できる公園や校庭があるほか、シールド工法によりバイパス管工事を進めています。



こちらで紹介している本は、

**豊中市上下水道局 1F（開庁日時 平日8:45 – 17:15）**で、

ご自由にご覧いただけます。お気軽におこしてください。



お問い合わせ 

豊中市上下水道局

経営部 お客さまセンター 窓口課

豊中市北桜塚4-11-18

 06-6858-2936

 06-6858-0447